

GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

(11/3~11/9)

10 月報合併号

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

◇ 水痘が恵那保健所管内で増加しています。→トピックス

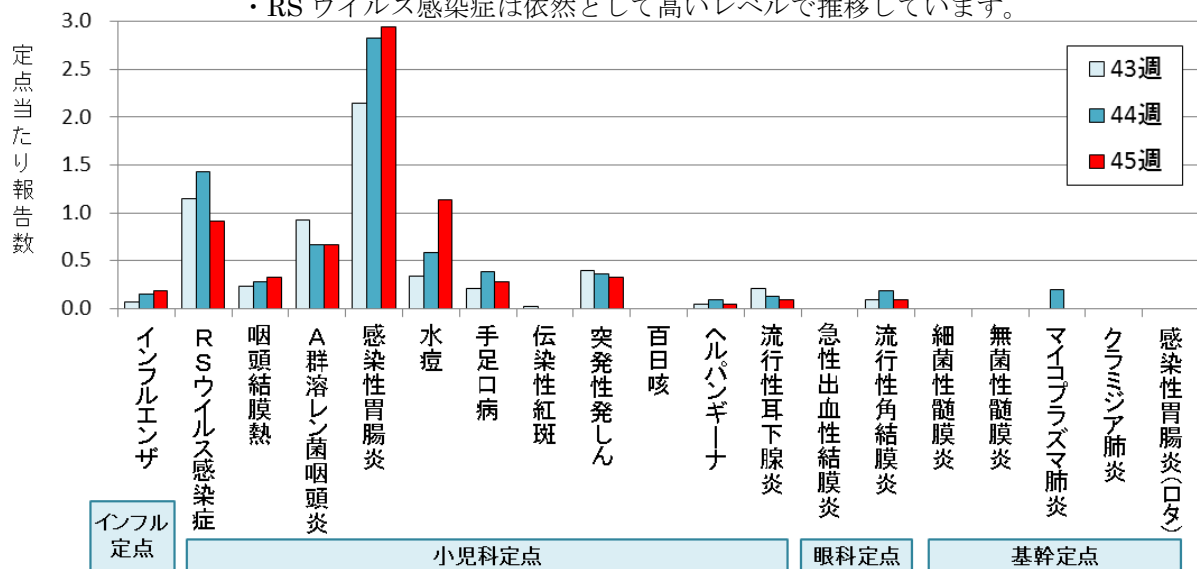
■ 定点把握対象疾患（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	なし	—
注意報レベル	水痘	恵那保健所（5.75）

● 直近 3 週の比較

- ・水痘は県全体で先週の 2 倍に増加しています。
- ・RS ウイルス感染症は依然として高いレベルで推移しています。



■ 全数把握対象疾患

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 10 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：つつが虫病 1 例、デング熱 1 例（感染地域：モルディブ）
- 5 類感染症：なし

● 2014 年累計

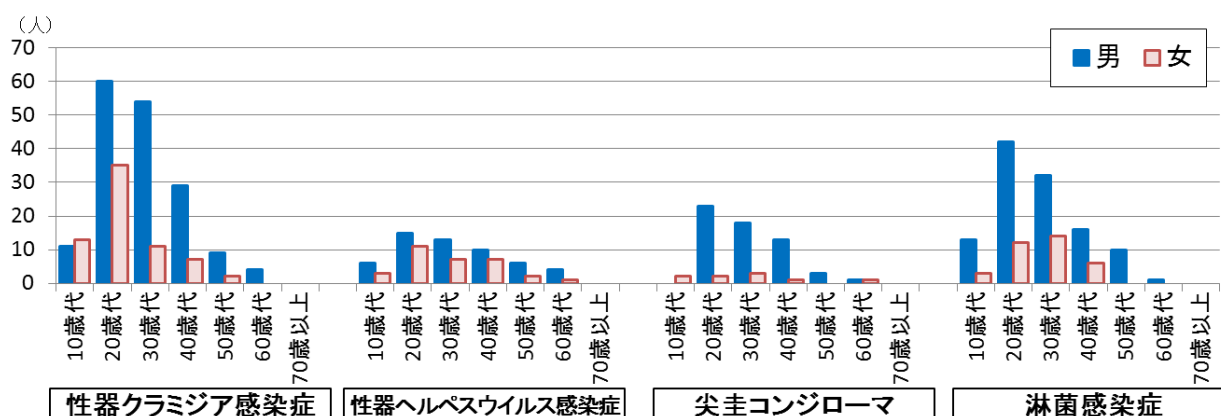
1 類感染症	なし		
2 類感染症	結核	388 例	
3 類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症 36 例
4 類感染症	E 型肝炎	3 例	デング熱 6 例
	A 型肝炎	1 例	マラリア 1 例
	チクングニア熱	1 例	レジオネラ症 18 例
	つつが虫病	3 例	
5 類感染症	アメーバ赤痢	13 例	水痘（入院例） 3 例
	急性脳炎	1 例	梅毒 10 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 例	破傷風 1 例
	後天性免疫不全症候群	20 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例
	ジアルジア症	1 例	風しん 2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	麻しん 3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	18 例	

■月報告定点把握対象疾患 <10月>

●性感染症（STD定点：15か所）

疾患名	報告数（定点当たり）					
	10月	男	女	9月	8月	7月
性器クラミジア感染症	32 (2.13)	26	6	27 (1.80)	24 (1.60)	22 (1.47)
性器ヘルペスウイルス感染症	8 (0.53)	4	4	5 (0.33)	6 (0.40)	8 (0.53)
尖圭コンジローマ	6 (0.40)	6	-	7 (0.47)	7 (0.47)	11 (0.73)
淋菌感染症	13 (0.87)	10	3	15 (1.00)	19 (1.27)	11 (0.73)

年齢階級別報告数（2014年1月～10月累計）



●薬剤耐性菌感染症（基幹定点：5か所）

疾患名	10月報告数（定点当たり）	年齢群等
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	14 (2.80)	10歳未満2例、60歳代5例、70歳以上7例
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1 (0.20)	60歳代1例
薬剤耐性緑膿菌感染症	なし	—

■病原体検出情報速報

病原体定点等から提出された検体の病原体（遺伝子を含む）検索結果（10月9日～11月13日結果判明分）

臨床診断名	病原体名	検出数（人）	検体採取年月
腸管出血性大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌(O157:H7 VT2)	2	2014年10月
A群溶連菌感染症	A群溶血性レンサ球菌 (<i>Streptococcus pyogenes</i>)	1	2014年9月
レジオネラ症	レジオネラ・ニューモフィラ 血清群1	1	2014年10月
肺炎	アデノウイルス3型、エコーウイルス11型	1	2014年7月
無菌性髄膜炎	ヒトヘルペスウイルス7型	1	2014年9月
新生児敗血症	ヒトパレコウイルス3型	1	2014年9月
デング熱（疑い）	エコーウイルス30型	1	2014年9月

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターのHPをご覧ください。

感染症発生動向調査週報（IDWR） <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報（IASR） <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>

■トピックス

《水痘（みずぼうそう）》

◆ 恵那保健所管内で患者数が増加しています

第45週、県内の小児科定点医療機関（53 定点）からの水痘患者の報告は60人（定点当たり1.13人）と、先週の2倍に増加しています。

恵那保健所管内で報告数が急増しており、定点当たり5.75人と国立感染症研究所の定める注意報レベル（定点当たり4人以上）の流行となっています。

その他、岐阜保健所管内でもやや増加しています。

患者の年齢は1～6歳で多く報告されています。水痘は例年、初夏と冬に患者数が増加し、冬は12月～1月前半がピークとなっています。今後の動向に注意が必要です。

◆ ワクチンによる予防が可能です

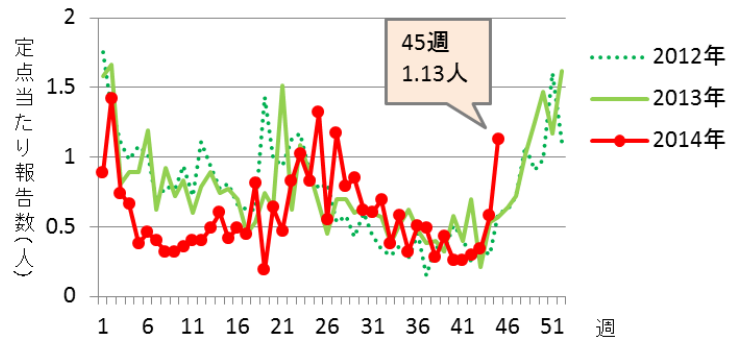
今年の10月から、水痘ワクチンが予防接種法に基づく定期接種の対象となりました。

接種対象者は下記のとおりです。接種についての詳細は、お住まいの市町村におたずねください。

水痘ワクチン定期接種対象者

- ◇ 生後12月から生後36月に至るまでの間にある方（2回接種）
- ◇ 平成26年度に限り、生後36月に至った日の翌日から生後60月に至るまでの間にある方（1回接種）

水痘患者報告数(岐阜県:53 定点)

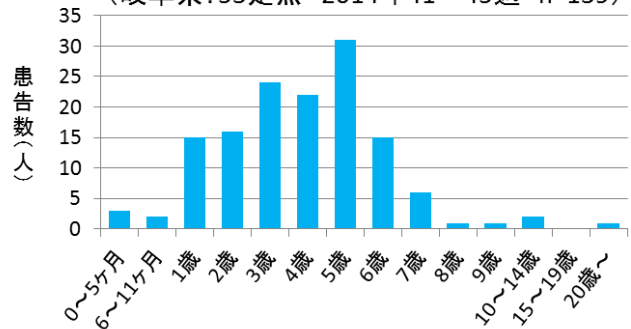


保健所別水痘患者報告数(53 定点)

() 内は定点あたり報告数

保健所	42 週	43 週	44 週	45 週
岐阜市	3 (0.33)	1 (0.11)	4 (0.44)	3 (0.33)
岐 阜	5 (0.50)	7 (0.70)	2 (0.20)	16 (1.60)
西 濃	0 (-)	2 (0.22)	8 (0.89)	8 (0.89)
関	2 (0.40)	1 (0.20)	5 (1.00)	6 (1.20)
中 濃	1 (0.20)	1 (0.20)	2 (0.40)	0 (-)
東 濃	4 (0.80)	2 (0.40)	3 (0.60)	4 (0.80)
恵 那	1 (0.25)	4 (1.00)	7 (1.75)	23 (5.75)
飛 騨	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
岐阜県	16 (0.30)	18 (0.34)	31 (0.58)	60 (1.13)

水痘 年齢別患者報告数
(岐阜県:53 定点 2014年41～45週 n=139)



★水痘とは

水痘帯状疱疹ウイルスによる感染症で全身性の水疱を特徴とします。感染力が非常に強く、飛沫感染・接触感染のほか、空気感染もあります。通常約2週間の潜伏期間を経て、発疹、倦怠感、発熱などが現れ、発疹は紅斑→丘疹→水疱・膿疱→痂皮（かさぶた）と変化します。健康な小児では一般に予後良好ですが、一部で肺炎などを合併し重症化することがあります。

★感染症法における取扱い

水痘は、感染症法において5類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約3,100か所（岐阜県53か所）の小児科定点から毎週報告がなされています。

届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/hasseidoko/kansenshouh-ou-kijun.html> (保健医療課 HP)

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/kenko-fukushi/hokekan/kansensyo/>